

第35回 世界子ども愛樹祭 コンクール

☆☆☆みどりの森につつまれて地球のほほえみを☆☆☆

みんなで『愛樹のこころ』を広げよう

●主 催 NPO法人世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネット

●後 援 文部科学省・環境省・林野庁・福岡県・福岡県教育委員会・八女市・八女市議会・
八女市教育委員会・日本郵便(株)・(公社)国土緑化推進機構・(一社)全国林業改良普及協会・
(公財)福岡県水源の森基金・福岡県森林組合連合会・福岡八女農業協同組合・NHK福岡放送局・
RKB毎日放送・KBC・テレビ西日本・FBS福岡放送・西日本新聞社・読売新聞西部本社・
朝日新聞社・毎日新聞社・(一財)秘境柚の里・(株)ジャンヌマリー・八女市PTA連合会
「こどもワンヘルス賞」参加事業

作品送付先・お問い合わせ先

〒834-1401 福岡県八女市矢部村北矢部11060-1 (柚のふるさと文化館内)

NPO法人 世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネット

TEL.0943-47-2055 FAX.0943-24-9035

E-mail:aijusaicosmo@ktarn.or.jp

※お願い 作品は、応募表又は名簿の番号順に揃えてお送り頂きますようご協力をお願いいたします。

キリトリセン

作品応募表

(いずれかに○を付けて下さい。) 詩・作文の部 絵画の部 木はがきの部 【 学校 団体 個人 】

住所(〒)	都道府県	市郡	町村
学校・団体名(個人応募以外の方)		代表者名	
TEL		FAX	

	事務局欄	NO	学年・年齢	氏 名	作品題名(詩・作文のみ記入)
応募者名		1			
		2			
		3			
		4			

*作品の裏には氏名・学年・学校名(団体名)を必ずお書き下さい。ご提出前にご確認をお願いします。

*応募者名簿欄が足りない場合はコピーしてお使い下さい。(児童生徒名簿可)*ボールペンにてご記入下さい。

第35回 世界子ども愛樹祭コンクール 作品募集要項

ねらい

- 地球に自然の恵みを与える森林環境に関心を持つ。
- 緑・森林づくりをしようとする意識を高める。
- ◎あなたのまわりのみどりや木々を見つめ、見たこと・聞いたこと・したこと・思ったことを絵や文に表してみましょう。

募集作品規格

- 詩（俳句・短歌・標語を含む）・作文
400字詰め原稿用紙5枚以内。
詩等は用紙自由（A4サイズまで）
＊日本語による応募に限ります。
＊濃いめの鉛筆ではっきりと書いて下さい。
- 絵画
画用紙四つ切りサイズ基準。画材は自由。
裏面に主題（表したかった事）をご記入下さい。
- 木はがき
木製のはがき、又は木板など。
大きさは、はがきサイズからA4サイズまで。厚さ・形は自由。
自作の板でも可。

応募しめきり

令和7年11月30日（日）当日消印有効

入賞者決定

- 一次選考会（令和7年12月13日予定）、及び最終選考会（令和8年1月13日予定）によって審査決定します。
- 入賞者にはご本人宛に通知をいたします。

応募資格

- 詩（俳句・短歌・標語を含む）・作文
国内外の小・中学生
（海外においては15歳まで）
- 絵画
国内外の幼児・小・中学生・高校生
（海外においては18歳まで）
- 木はがき
年齢制限なし
（15歳以下・16歳以上の二部）

応募方法

応募表に必要事項を記入し作品と同封の上応募して下さい。
◎作品には氏名・学年（年齢）・学校名又は団体名を必ず記入。

表彰

- 森の大賞
文部科学大臣賞 1点（作文の部）
林野庁長官賞 1点（絵画の部）
環境大臣賞 1点（木はがきの部15歳以下）
日本郵便株式会社社長賞 1点（木はがきの部16歳以上）
- 県・みどりの賞
福岡県知事賞 2点（作文・絵画）
福岡県議会議長賞 2点（作文・絵画）
福岡県教育委員会賞 2点（作文・絵画）
- 市・みどりの賞
八女市長賞 4点（各部門）
八女市議会議長賞 2点（作文・絵画）
八女市教育委員会教育長賞 4点（各部門）
- 選考委員等特別賞 12点（作文・絵画）
- テレビ局賞 20点（作文・絵画）
- 新聞社賞 16点（作文・絵画）
- 福岡県森林組合連合会会長賞 4点（各部門）
- JAふくおか八女組合長賞 4点（各部門）
- こどもワンヘルス賞 2点（作文・絵画）
- しゃくなげ賞 ●さくら賞 若干名（各部門）

◆◆◆最終選考委員◆◆◆

- ☆長野 ヒデ子（絵本作家）
- ☆大倉 紀子（デザイナー）
- ☆安部 龍太郎（作家）
- ☆黒木 瞳（女優）
- ☆石川 えりこ（絵本作家）

- ◆各入賞者には賞状を贈り作品集に掲載します。
- ◆応募作品は未発表に限ります。
（心をこめた自作であること）
- ◆入賞者の著作権は主催者に属します。
- ◆応募作品の返却はいたしません。
（愛樹祭コンクールにて保管）

愛樹祭の作品を拝見するたびに、自然の恵みと豊かさ、そして大切さを感じます。

我々人間も自然の中から生まれましたが、豊かで便利な生活を求めるあまり、いつの間にか自然を壊す存在になってしまいました。その結果、地球規模の環境破壊をおこし、異常気象に苦しめられるようになりました。

その意味を自分自身に問いかける作品が、人の心をも動かすのだと思います。今年も多くの方々の応募をお待ちしております。

最終選考委員 安部 龍太郎